旧半田病院敷地における土壌汚染調査結果及び対策について

旧半田病院敷地の土壌汚染詳細調査については、令和７年度に実施した概況調査結果（※１）に基づき、汚染区画（※２）の詳細調査を令和８年６月から９月にかけて実施いたしました。その結果、区画内は深度最大５ｍまで汚染が確認できたほか、地下水が汚染していることが判明しました。

この調査結果を受けて、県民の生活環境の保全等に関する条例に基づき、適切に対策を施す必要があるため、関連する予算について１２月補正予算に計上いたします。

なお、詳細調査結果については、県条例に基づき本日付で愛知県へ報告し、県からも公表される予定です。

※１…地表面、配管等から深度０．５ｍの土壌を採取して行う調査で、ふっ素のみ検出。（令和８年４月１４日全員協議会報告）

※２…敷地北東部の８区画が該当。１区画は１０ｍ×１０ｍ。

記

１．土壌汚染詳細調査結果（別添のとおり）

概況調査で特定有害物質（ふっ素）が検出された８区画は、土壌汚染の深度が最大５ｍであり、全ての区画で地下水汚染あり。

＜調査における基準値と区画内の検出値＞

ふっ素の環境基準値（土壌、地下水共通）：０．８㎎/L

汚染区画の検出値（同上）：０．９～２．２ ㎎/L

【参考】海水のふっ素含有量：１．２～１．３ ㎎/L

２．土壌汚染等の対策

汚染区画を遮水壁（鋼矢板）で囲うとともに、上部をアスファルト等で被覆し、土壌汚染等を封じ込める対策工事を実施します。この対策により、雨水の浸透や地下水の流動を遮断し、特定有害物質が周辺の地下水へ溶出・拡散することを防止します。なお、対策工事には、汚染区画に立地する建物（旧院内保育所等）の解体を含みます。

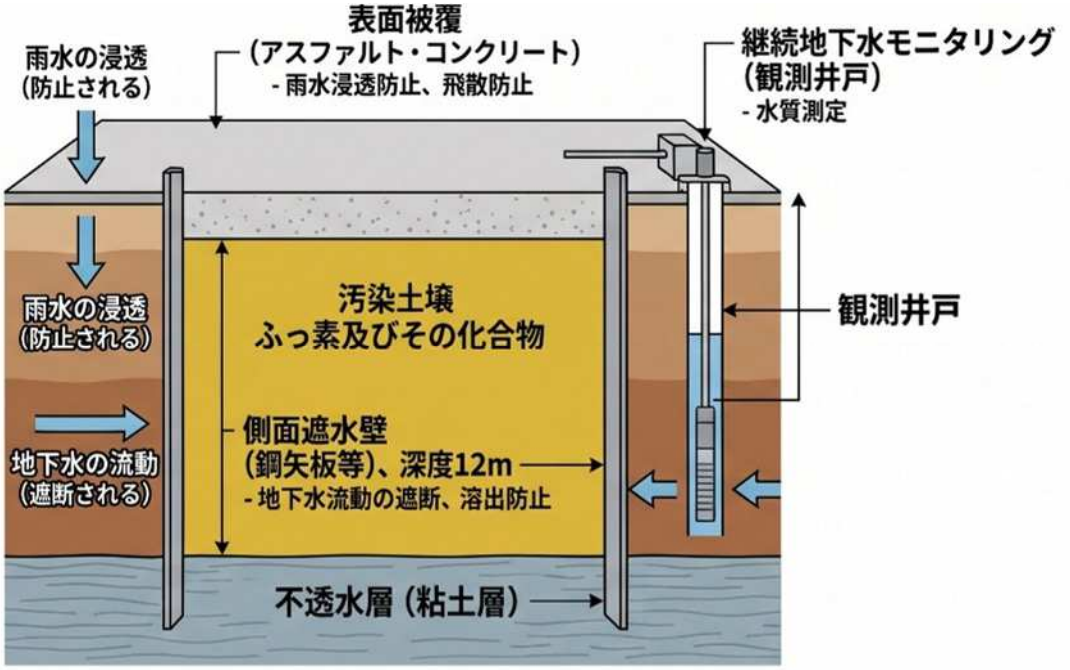
くわえて、県条例に基づき、特定有害物資の値を経過観察するため、汚染区画内のモニタリング調査を定期的（３か月に１度）に実施します。

＜対策内容＞

・場所：基準値超過区画　計８００㎡

※令和８年３月の概況調査終了時点で、暫定的な対策として、地表面に不透水シートを設置済

・時期：令和９年４月から９月（予定）
　令和８年１２月定例会に関連費用を補正予算計上のほか、
　令和９年３月定例会に契約議案を上程予定
・関連費用：約２．８億円程度
・対策のイメージ



分析結果図(ふっ素)

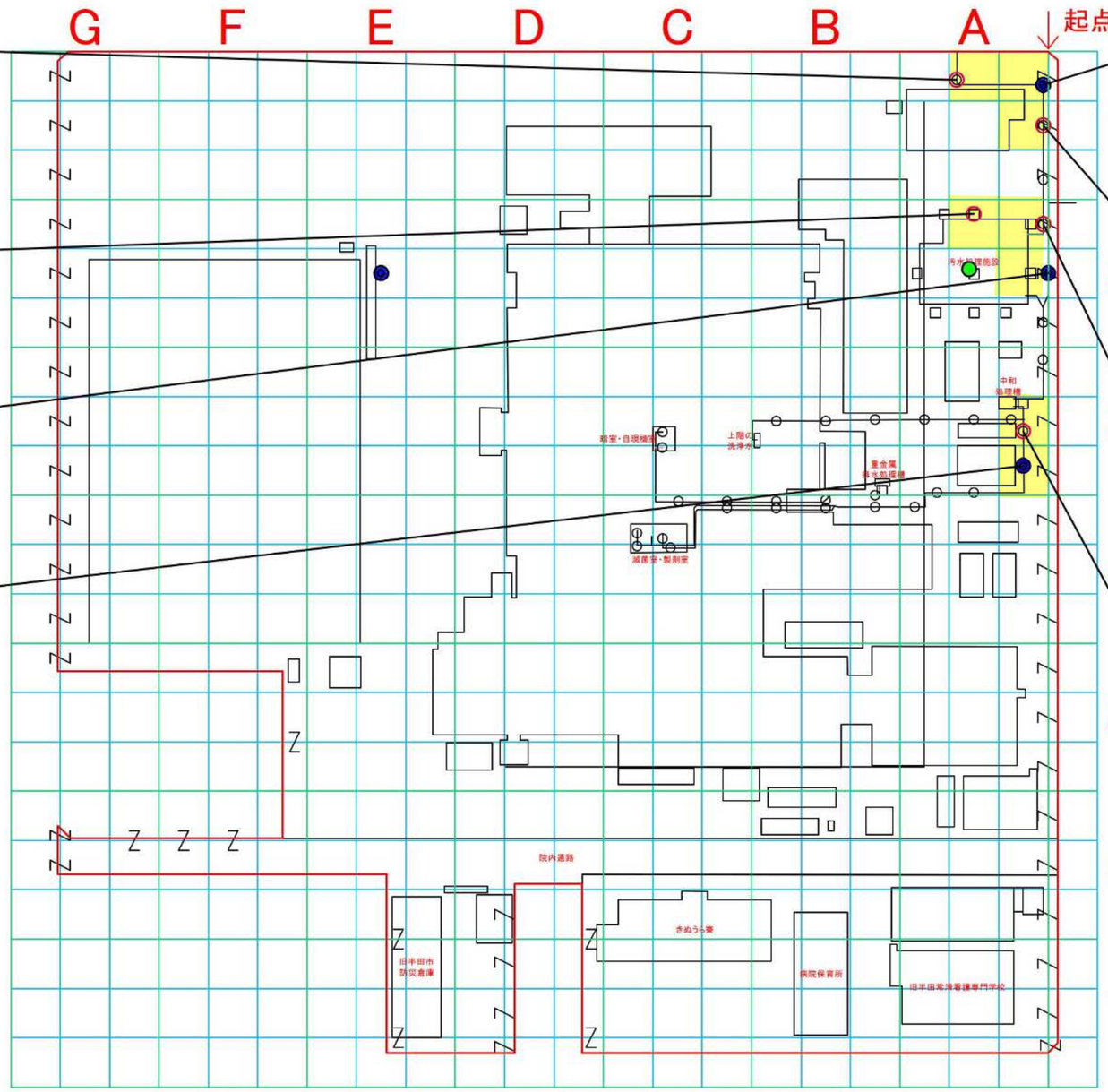
S=1/1,000

A1-2	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 2.5～3.0※	0.89
3.0	0.08未満
4.0	0.91
5.0	0.37
6.0	0.27
7.0	0.30
地下水	2.2

A2-2	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
ピット下 4.3～4.8※	0.91
5.0	0.58
6.0	0.21
7.0	0.18
地下水	2.0

A2-6	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 2.7～3.2※	0.87
4.0	0.41
5.0	0.27
6.0	0.31
7.0	0.22
地下水	0.95

A3-9	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 1.0～1.5※	0.81
2.0	0.33
3.0	0.28
4.0	0.32
5.0	0.62
6.0	0.34
地下水	0.90



A1-3	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 2.3～2.8※	1.1
3.0	0.96
4.0	0.76
5.0	0.34
6.0	0.31
7.0	0.26
地下水	1.2

A1-6	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 2.2～2.7※	1.1
3.0	1.0
4.0	0.39
5.0	0.37
6.0	0.45
7.0	0.50
地下水	1.4

A2-3	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 2.5～3.0※	1.2
3.0	0.59
4.0	0.69
ピット下 4.4～4.9※	0.87
5.0	0.40
6.0	0.24
7.0	0.30
地下水	1.3

A3-6	
深度(m)	ふっ素 溶出量(mg/L)
配管下 1.1～1.6※	0.89
2.0	0.12
3.0	0.08未満
4.0	0.42
5.0	0.56
6.0	0.23
地下水	2.1

※は概況調査結果

凡 例

- □ ：調査範囲
- □ ：単位区画（10m×10m）
- □ ：30m格子
- ∠ ：単位区画の統合
- ○ ：ボーリング地点
- ● ：ボーリング地点(観測井戸設置)
- ● ：表層及びボーリング地点

図 4-1　調査結果図（詳細調査）